

# プログラム

9:00～	中部支部例会参加登録
9:25～9:30	例会開会・支部長挨拶
9:30～10:40	一般演題(スライドによるショートプレゼンテーション)
11:00～13:10	シンポジウム「生化学を巡る最近のトピックス」 (座長:奥直人)
S01: マウス生殖細胞の性分化制御機構	相賀 裕美子(国立遺伝学研究所)
S02: RNA分解調節による炎症制御メカニズム	竹内 理(大阪大学・免疫学フロンティア研究センター)
S03: 生体膜リン脂質における脂肪酸鎖多様性の生物学的意義	新井 洋由(東京大学大学院・薬学系研究科)
S04: 糖鎖異常による先天性筋ジストロフィー	遠藤 玉夫(東京都健康長寿医療センター研究所)
13:10～14:30	昼食
14:30～16:30	一般演題(ポスター討論) (16:00までにポスター奨励賞投票)
P01: ゼブラフィッシュ初期発生過程におけるPOMGnT1遺伝子の発現解析	アヴシャル-坂 恵利子(三重大院・生資)
P02: アフリカツメガエル2次胚はどのようにしてできるか	佐藤 英二(浜医大・生化学第2)
P03: ウニ初期胚マイクロドメインに局在する糖鎖エピトープの構造と機能	萩原 尚文(名大院、生命農学)
P04: ゼブラフィッシュの行動解析による中枢神経作用薬の薬理ゲノミクスクラスタリング	西村 有平(三重大院・医・薬理ゲノミクス)
P05: 脳虚血再灌流障害治療に向けたasialo-EPO修飾PEGリポソームの応用	福田 達也(静岡県大・薬・医薬生命化学・グローバルCOE)
P06: 酵母D-セリンデヒドラーゼの神経疾患解析への応用	高田 紘江(名大院・生命農学・生体高分子学)
P07: 亜鉛欠乏食飼育ラットのうつ様行動増加のメカニズム解析	小川 泰右(静岡県大・薬・医薬生命化学・グローバルCOE)
P08: 膜透過型亜鉛キレート試薬Clioquinolによる亜鉛神経毒性の増大	中村 仁聡(静岡県大院・薬・医薬生命化学・グローバルCOE)
P09: ClioquinolによるNEラットのでんかん発作感受性の増大	飯田 雅史(静岡県大院・薬・医薬生命化学・グローバルCOE)
P10: 脳に局在する酸性多糖ポリシアル酸とFGF2の相互作用解析	羽根 正弥(名大・生物機能セ)
P11: ラット脳内におけるN-グリコリルノイラミン酸の分布解明	稲田 真里(静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
P12: 海馬におけるN-グリコリルノイラミン酸高発現ラットの構築および学習能に及ぼす影響	田口 理紗(静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
P13: 新規人工合成基質を利用したラット脳内におけるシアリダーゼ活性の分布解明	福元 北斗(静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)

- P14 : ラットの海馬依存性記憶におけるシアリダーゼの役割  
齋藤 正和 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)
- P15 : シアリダーゼの海馬神経興奮に伴う活性変化と神経伝達物質放出に対する作用のインビボ解析  
崔 紗希 (静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
- P16 : 海馬神経興奮と連動した細胞表面シアリダーゼ活性の変化  
南 彰 (静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
- P17 : 脳形成に必須な分泌タンパク質リーリンの特異的切断を担うプロテアーゼに関する解析  
久永 有紗 (名大院・薬・病態生化学)
- P18 : ERK2 phosphorylates Par3 and controls its transport in axons  
船橋 靖広 (名大院・医・神経情報薬理学)
- P19 : Neurotrophins regulate neuronal polarity acting through inositol 1, 4, 5-trisphosphate/Ca<sup>2+</sup>/calmodulin-dependent protein kinase kinase  
中牟田 信一 (名大院・医・神経情報薬理学)
- P20 : Structure determination of N-glycans on a few pmol glycoprotein and its application to the structural analysis of N-glycans on myelin protein zero  
吉村 武 (生理研・分子神経生理)
- P21 :  $\alpha$ 1,6フコース転移酵素 (FUT8) 欠損マウスにおける統合失調症様行動と脳内神経伝達物質バランスの変化  
橋本 弘和 (生理研・分子神経生理)
- P22 : ゼブラフィッシュの脳に発現するN-結合型糖鎖の構造決定  
鳴海 麻衣 (総研大・生命科学)
- P23 : バーグマングリアが及ぼす小脳発生異常  
杉尾 翔太 (総研大・生命科学)
- P24 : 紫外線照射による $\alpha$ -MSH関連ペプチドの活性化機構  
大石 純平 (静岡県大・薬・生物薬品化学)
- P25 : インクレチン活性を有する内因性リガンドの単離  
齋藤 駿 (静岡県大・薬・生物薬品化学)
- P26 : ハイドロダイナミック法を用いた肝トランスポーターの動態解析  
橋爪 孝弘 (静岡県大院・薬・生体情報分子解析学)
- P27 : マウス血清脂質量の性差とその発現機序の解析 : 肝IL-1に着目して  
大井 一樹 (静岡県大・薬・衛生分子毒性学)
- P28 : 高脂肪食飼育マウスにおけるコレステロールトランスポーター発現誘導機構の解析  
森岡 浩子 (静岡県大院・薬・生体情報分子解析学)
- P29 : エステル型secosterol類のヒトLDLコレステロールからの検出と細胞毒性  
伴野 勸 (静岡県大院・生活健康科学・生化学)
- P30 : p300特異的ヒストンアセチル化抑制クルクミンは高血圧性心不全の進行を抑制した  
原 満帆 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P31 : 心筋梗塞後の左室収縮能の低下をオーラプテンは改善する  
川口 正悟 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P32 : 天然抽出物ノビレチンを用いた新規心不全治療の可能性  
矢吹 晴一郎 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P33 : Nobiletin含有Biletin<sup>TM</sup>の心不全に対する抑制効果の検討  
伴野 菜津美 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P34 : 柑橘類抽出物ノビレチンは心筋特異的転写因子GATA4同士の結合を阻害する  
桑原 正和 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P35 : 脂溶性スタチンは水溶性スタチンよりも低濃度で心筋細胞肥大を抑制した  
平野 早絵 (静岡県大・薬・分子病態学)

- P36 : 5-HT<sub>2A</sub>受容体拮抗薬サルボグレラートはERK、Akt活性を抑制し心筋細胞肥大を抑制する  
諸田 まどか (静岡県大・薬・分子病態学)
- P37 : Ca拮抗薬NifedipineによるヒトCYP1A1遺伝子発現誘導機構の解析  
伝宝 有美 (静岡県大・薬・衛生分子毒性学)
- P38 : サイクリン依存性キナーゼ2は核内受容体PXRを介して薬物代謝酵素CYP3A4、UGT1A1の発現を負に調節する  
内田 貴啓 (静岡県大・薬・生体情報分子解析学)
- P39 : 海洋性アンモニア酸化細菌NS58の亜硝酸塩還元酵素NirKの生化学的解析  
近藤 桂太郎 (静大院・理・生物科学)
- P40 : 海洋性ビブリオ菌Na<sup>+</sup>駆動型べん毛モーターPomA/PomB固定子複合体のモーターへの集合機構  
小嶋 誠司 (名大院・理・生命理学)
- P41 : ラットのアルドース還元酵素類似酵素 (AKR1B14) による4-オキソ-2-ノネナールの効率的還元  
藤田 杏奈 (岐阜薬大・生化学)
- P42 : ストレス誘導性タンパク質TRB3によるTGF- $\beta$  シグナル抑制機構の解析  
伊藤 友香 (名市大院・薬)
- P43 : Native-PAGE法を用いたカイコ由来sHSP 20.8とsHSP 19.9の会合状態に対する温度及び圧力効果の研究  
上田 敏史 (九大院・生資環・遺資工)
- P44 : ライブセルイメージングによる植物液胞膜H<sup>+</sup>-pyrophosphataseの解析  
瀬上 紹嗣 (名大院・生命農)
- P45 : 細胞膜の新規カルモジュリン結合タンパク質PCaP1の分子生物学的解析  
秋田 瑞穂 (名大院・生命農・細胞ダイナミクス)
- P46 : 細胞膜型カルシウム結合タンパク質PCaP1により発現抑制されるSKS6の分子生物学  
三輪 智佳 (名大院・生命農・細胞ダイナミクス)
- P47 : O-GlcNAc on extracellular protein domains mediates epithelial cell-matrix interaction  
堺谷 祐太 (名大院・医・生化学第二)
- P48 : クロロディン-2はMMP-9の産生を介してヒト肺腺がん細胞の移動性を亢進する  
佐藤 友成 (静岡県大・薬・生体情報分子解析学)
- P49 : マグネシウムチャンネルの発現に対するラパマイシンの影響  
利根川 千恵 (静岡県大・薬・生体情報分子解析学)
- P50 : 人工細胞モデルへの応用をめざしたpH転換による巨大リポソームへのタンパク質高封入  
清水 貴博 (三重大院・工・分子生物工学)
- P51 : 大腸特異的Atg7欠損マウスにおけるデキストラン硫酸誘発性大腸炎の増悪化  
坪井 康一郎 (静岡県大・薬・免疫微生物学)
- P52 : ヒトパラインフルエンザ1型ウイルスフュージョン糖タンパク質の170番目のアミノ酸変異は多核細胞形成とカスパーゼ3依存性アポトーシスを誘導する  
高橋 忠伸 (静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
- P53 : ヒトパラインフルエンザ1型および3型ウイルス感染におけるシアル酸結合様式の関与  
伊藤 誓悟 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)
- P54 : ヒトパラインフルエンザ3型ウイルス感染におけるスルファチドの機能解析  
福島 圭穂 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)
- P55 : 分泌型トリインフルエンザウイルスH5型ヘマグルチニンのバキュロウイルスを用いた発現と精製  
川岸 佐和子 (静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
- P56 : イヌから分離されたA型インフルエンザウイルスのシアロ糖鎖認識  
吉野 宏毅 (静岡県大・薬・生化学・グローバルCOE)
- P57 : デングウイルスEタンパク質機能を阻害する低分子硫酸化糖誘導體  
江良 翔太 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)

- P58 : デングウイルスNS1タンパク質糖鎖の生化学的性状  
江川 且起 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)
- P59 : Sia $\alpha$ 2-3含有糖鎖の免疫学的検出  
山口 真帆 (静岡県大院・薬・生化学・グローバルCOE)
- P60 : IgG4関連疾患患者血清と反応する抗原分子の探索-ファージディスプレイランダムペプチドライブラリーを用いた検討-  
出口 和輝 (静岡県大・薬・臨床薬効解析学)
- P61 : MALTリンパ腫患者から単離したヒト型リコンビナントFabの認識する抗原の解析 : 免疫沈降法を用いたrFab認識抗原の同定  
成島 悠太 (静岡県大・薬・臨床薬効解析学)
- P62 : 受容体タンパク質の立体構造特異的モノクローナル抗体作製技術の開発  
織田 康行 (三重大院・工・分子生物工学)
- P63 : 血清中1-メチルアデノシンの測定系の構築  
井上 稚沙子 (静岡県大・薬・臨床薬効解析学)
- P64 : 新規GATA4結合タンパク質RbAp46、RbAp48はp300/GATA4経路を介して心筋細胞肥大を調節する  
野村 幸弘 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P65 : クロマチンリモデリング因子SWI/SNF複合体の心筋細胞肥大に対する役割  
石橋 幸大 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P66 : メチルトランスフェラーゼPRMT5の心筋細胞肥大に対する役割の検討  
中川 由紀子 (静岡県大・薬・分子病態学)
- P67 : 心筋細胞肥大における p300/GATA4 経路に対する TBL1の役割  
並木 雅俊 (静岡県大・薬・分子病態学)

16:30~17:00

日本生化学会中部支部例会・総会

## 会場案内図

(看護学部棟4階)

